

## 業務委託仕様書（案）

### 1 業務名

令和5年度東北新幹線鉄道騒音に係る75デシベル対策達成状況等調査業務

### 2 業務目的

新幹線鉄道騒音については、「新幹線鉄道騒音に係る環境基準について(昭和50年7月29日、環境庁告示第46号)」(以下、「環境基準」という。)に定めている基準値及び達成目標期間の達成に向けて、新幹線鉄道沿線の住宅密集地域等であって75デシベル(ホン)を超える地域の騒音レベルを75デシベル以下とするため、いわゆる「75デシベル対策」を、関係行政機関及び関係鉄道事業者において行っている。

本業務は、鉄道事業者において行った対策実施箇所の騒音測定を実施し、対策の実施状況を確認するとともに、環境基準の達成状況を把握するために実施するものである。

### 3 履行期間

契約締結日より令和6年1月17日(水)までとする。

### 4 業務内容

#### (1) 業務打ち合わせ

以下のとおり、本業務の岩手県担当職員(以下、「県担当者」という。)と打ち合わせを行うこと。

- ア 第1回 業務着手後速やかに行うこと。
- イ 第2回 受託期間中に1回行うこと。(進捗状況の確認)
- エ 第3回(最終)報告書のとりまとめ時に最終協議を行うこと。

業務の実施にあたり、業務遂行上疑義が生じた場合は、上記以外にも協議を行い、業務を遂行すること。

#### (2) 新幹線騒音調査

下記のとおり新幹線騒音調査を実施すること。

##### ア 新幹線鉄道騒音の測定・評価

新幹線鉄道騒音の測定・評価は、環境基準に準じて実施すること。

また、測定及び評価の具体的な方法は、「新幹線鉄道騒音測定・評価マニュアル(平成27年10月、環境省)」(以下、マニュアルという。)に基づき実施すること。

##### イ 調査地点

調査は、別紙1「調査地点」に記載する4地点について実施すること。

測定点は、県担当者が示す測定地点側の軌道中心から25mの地点(以下、25m点という。)に設定すること。

なお、調査の結果、測定候補地点周辺での測定が不可能であることが判明した場合及びより適切な調査地点が確認された場合には、県担当者と協議すること。

#### ウ 測定に係る留意事項

測定にあたり次の内容について留意すること。

- ① 交通量が多い地点では、レベルレコーダ等を使用し新幹線通過時における自動車騒音等との重複の有無を確認し、測定値が有効か欠測かを判断すること。
- ② 地上付近で風速が5 m/s を超える強風時や降雨・降雪時、積雪時など地面の状態が通常と異なる場合など騒音の測定に影響を及ぼすような日は測定を避けること。
- ③ 騒音の測定に際しては、マニュアル6.3.2の注記4の措置を適用することができるものとする。
- ④ 暗騒音測定として、新幹線鉄道騒音が発生していない間の等価騒音レベル及び95%時間率騒音レベルを測定し記録すること。

#### エ 並行測定の実施

測定期間中に1回、岩手県環境保健研究センター職員による並行測定を実施するものとする。受託者は、並行測定に対し事前調整及び当日の測定に対し協力すること。

### 5 業務に要求する事項等

- (1) 受託者は、計量法第107条に基づき「音圧レベル」の区分での登録を受けていること。
- (2) 受託者は、経済産業省令で定める環境計量士（騒音・振動関係）の資格保有者を主任技術者として指名し、本業務を遂行させるものとする。
- (3) 主任技術者は、本業務が秩序正しく円滑に行われるよう全般的な技術的監理を行わなければならない。
- (4) 受託者は、本業務の円滑な進捗に十分な数の業務担当者を配置すること。

### 6 提出書類

受託者は、業務の着手及び完了にあたり、契約書に定めるもののほか、下記の書類を岩手県に提出すること。

名称	部数	提出期限
業務着手届	1	契約締結後、速やかに
主任技術者届	1	契約締結後、速やかに
業務日程表	1	契約締結後、7日以内

### 7 結果の整理集計及び成果品等

#### (1) 結果の整理集計

測定結果に基づき、測定データを整理、集計し、以下の様式にとりまとめること。

- ア 調査報告書（調査概要、調査方法、調査地点等の内容を記載した任意様式）
- イ 新幹線鉄道騒音地点別調査結果一覧表（様式1）
- ウ 新幹線鉄道騒音測定位置図（様式2）
- エ 新幹線鉄道騒音測定記録個表（様式3）

(2) 成果品

受託者は、本業務が完了した時点で、次に示す成果品を提出し検査を受けること。

- ア 調査報告書 2部（紙で提出）
- イ 様式1～3 2部（紙で提出）
- ウ 計量証明書（紙で提出）
- エ CD-R 2枚（様式1～3の電子データ「エクセルファイル」）

(3) 電子データの仕様

- ア Microsoft 社 Windows10 上で表示可能なものとする。
- イ 使用するアプリケーションソフトについては、以下のとおりとする。
  - ・文章；Microsoft 社 Word（ファイル形式は「Office2010（バージョン14）」以降で作成したもの）
  - ・計算表；表計算ソフト Microsoft 社 Excel（ファイル形式は「Office2010（バージョン14）」以降で作成したもの）
  - ・画像；BMP 形式又は JPEG 形式

8 その他

- (1) 本業務の実施にあたって、受託者の不注意により生じた不都合及び故障等の一切については、受託者の責任において処理すること。
- (2) 受託者は、事前に本業務の調査趣旨、調査内容等について付近住民に周知し、承諾を得ること。
- (3) 本業務が岩手県の委託業務であることが判るように看板等に表示すること。
- (4) 受託者は、本業務の遂行に当たり調査員の安全確保に努めること。
- (6) 本業務の実施に支障をきたす点や不明な事項について、受託者は岩手県と協議の上決定すること。
- (7) 本仕様書に定められていない事項については、県担当者の指示に従うこと。

## 別紙1「調査地点」

区間 No.	県別	測定場所（住所）	測定地点 側の軌道 （上下の別）	キロ程	地域 類型
1	岩手県	奥州市江刺区稲瀬付近	上	443K000M	Ⅱ
2	岩手県	北上市相去町付近	下	445K350M	I・Ⅱ
3	岩手県	花巻市石鳥谷町付近	上	471K360M	Ⅱ
4	岩手県	紫波郡紫波町桜町田頭付近	上	479K060M	I・Ⅱ

新幹線鉄道騒音 地点別調査結果一覧表（1／〇枚目）

都道府県名 担当課・室名 ○〇部〇〇課  
 市町村名 ○〇県 TEL 03-1234-5678  
 路線名 ○〇〇新幹線 E-mail aaa@pref. bbb. lg. jp

地点 番号	測定場所 (住所)	測定地点 側の軌道 (上下の別)	キロ程 <sup>※1</sup>	用途地域 <sup>※2</sup>	地域 類型	騒音評価値 $L_{A, Smax}$ (dB)			平均 列車速度 (km/h) <sup>※3</sup>	土木 構造物 の種類	防音壁の 有無 (高さ)	特記事項
						25 m	その他					
1	例) A市B町1-23付近 (B小学校南側)	上	12 K 345 M	第一種中高層住居専用地域	I	72	71 (12.5 m)	69 (50 m)	268	高架橋	有 (2.5 m)	
2	例) C町D4-5-6付近 (D地区)	下	67 K 890 M	無指定地域 (市街化調整区域)	II	68	—	—	256	盛土	有 (2.0 m)	
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												

※1 キロ程：各路線における起点から当該地点までの実距離

※2 用途地域：別紙3-2補足資料を参考

※3 平均列車速度：25m地点の測定結果から算定した値

## 新幹線鉄道騒音 測定位置図 (地点番号 ○)

調査日：令和〇〇年〇月〇日

路線名：〇〇〇新幹線

測定場所：〇〇市〇〇付近

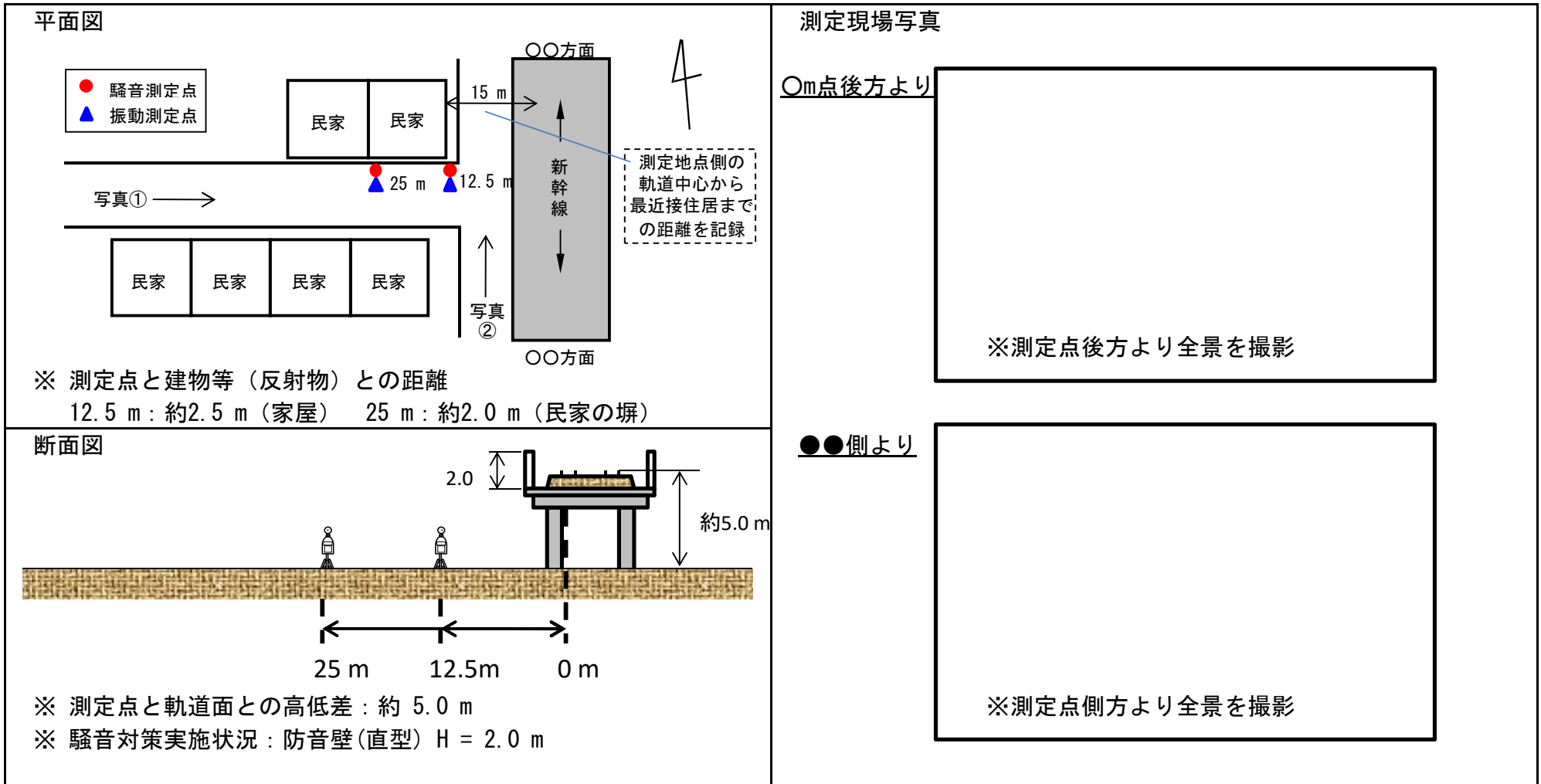
地域類型：I

キロ程：1235K678M

測定地点側の軌道：上り線

土木構造物の種類：高架橋

軌道の種類：スラブ軌道



新幹線鉄道騒音 測定記録個表 (地点番号 ○○)

測定日：令和○○年○○月○○日

路線名：○○○新幹線 測定場所：A市B町1-23付近 (B小学校南側) 上り

地域類型：I

天気：(晴れ・曇り・小雨)

気温：○○℃

風速：○○m/s

風向：(順風・逆風)

騒音計：○○社製 型番○○

音響校正器：○○社 型番○○

暗騒音の状況： $L_{Aeq,T}$  ○○dB、 $L_{A95,T}$  ○○dB、測定の妨げとなった主な騒音源 ○○○○

※評価に用いた最大騒音レベルの値に下線を引く

列車番号	測定時刻	上下別		最大騒音レベル $L_{A, Smax}$ (dB)			列車速度		車両形式	編成両数	特記事項
		上	下	25 m	その他		秒	km/h			
					○ m	△ m					
1	10:00	○		<u>72.8</u>	<u>72.4</u>	<u>69.8</u>	5.4	267	○系+△系	16	
2	10:10	○		-	-	-	2.9	248	△系	8	欠測(自動車)
3	10:20		○	<u>73.5</u>	<u>72.8</u>	-	1.7	212	□系	4	△m点欠測(自動車)
4	10:40	○		-	-	-	5.2	277	○系+△系	16	欠測(列車すれ違い)
5	10:40		○	-	-	-	データ無	-	△系	8	欠測(列車すれ違い)
6	.										
7	.										
8	.										
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											

	25 m	○ m	△ m
評価値 $L_{A, Smax}$ (dB)			
平均列車速度 (km/h)			

※ 測定列車が20本に満たない場合:その理由、状況等

記載例)列車の運行本数が少ないため、約6時間経過した時点で得られた連続して通過する列車の測定本数は18本(欠測を除く)であったが、当該箇所では暗騒音が安定し、測定値のバラツキも比較的小さかったことから、マニュアル6.3.2の注記4の取扱いを適用し測定を終了した。